

令和7年度
3歳未満児保育サービス
向上支援研修会報告書

(保育士等キャリアアップ研修【乳児保育】分野)

岡 山 県

(協力 : 日本保育協会岡山県支部)

令和7年度3歳未満児保育サービス向上支援研修会
(保育士等キャリアアップ研修会「乳児保育」分野)

【研修期間】 令和7年10月27日(月)、29日(火)、11月7日(水)、11日(火)

【研修会場】 きらめきプラザ、保育所実習園

【研修目的】

乳児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育士等に乳児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付けるとともに、乳児保育の実施に必要な知識及び技術に関する情報交換の機会を提供する。

【主催】 岡山県(協力：社会福祉法人日本保育協会岡山県支部)

【対象】

県内の認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所、事業所内認定保育事業所に勤務している保育士・保育教諭(園長、主任保育士を除く)、看護師、調理員等で、経験年数概ね3年～15年程度の者

【参加者】 39名

【研修日程】 別紙のとおり

.....

【本研修の流れ】

事前課題(問1～3)により、受講者自身が日頃の保育の振り返りをした上で研修に参加。初日のグループワーク、4日目のグループワーク、まとめの時間を使い、本研修で学んだこと、今後取り組みたいこと等について、受講者自身が記録(問4、5)を行った。

グループワークは、いろいろな市町村の参加者と情報交換、意見共有できるよう、3～4名1組で実施した。

(参加者のうち、5名分を抜粋し掲載。)

令和7年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会 研修プログラム
(本研修は、保育士等キャリアアップ研修【乳児保育】分野を兼ねています。)

【対象者】

★経験年数概ね3年以上15年未満の方…科目①～⑧(全科目)受講

	9時 30分	10時	12時	13時	15時	16時	研修会場
10/27 (月)	開 講 式	科目①【グループ学習:2時間】	昼 食	科目②【講義:3時間】			きらめきプラザ 4階 401会議室 (岡山市北区南方2-13-1)
		(例)各園での状況や特色を伝え合い、乳児保育の課題を明確にするとともに、乳児保育の実践例の討議を通して、乳児保育に関する実践力を身に付ける。		乳児保育における 安全な環境と保育者の関わり			
		就実大学大学院 非常勤講師 宮川 洋子 氏 (こじかこども園 園長 ふたばこども園 園長)		中国短期大学 名誉教授 原田 真澄 氏			
10/29 (水)	科目③【講義:2.5時間】		昼 食	科目④【講義:3時間】			きらめきプラザ 7階 706会議室 (岡山市北区南方2-13-1)
	乳児保育の意義と乳児の発達を支える保育者の関わり			乳児の栄養管理			
	山陽学園短期大学 名誉教授 村中 由紀子 氏			岡山県立大学保健福祉学部栄養学科 教授 久保田 恵 氏			
11/7 (金)	科目⑤【保育所実習:2.5時間】		昼 食	科目⑥【グループ学習:2時間】			実習園① 【公立】岡山市平井保育園 岡山市中区平井5丁目2-25 実習園② 【私立】原尾島こども園 岡山市中区原尾島1丁目7-5 実習園③ 【公立】田の口認定こども園 倉敷市児島田の口3-13-16 実習園④ 【私立】真備かなりや認定こども園 倉敷市真備町辻田268-1
11/11 (火)	科目⑦【講義:2.5時間】		昼 食	科目⑧【グループ学習とまとめ:3時間】		閉 講 式	きらめきプラザ 7階 706会議室 (岡山市北区南方2-13-1)
	乳児の発達に応じた保育内容 乳児保育の指導計画、記録及び評価			グループ学習	まとめ		
	就実大学大学院 非常勤講師 宮川 洋子 氏 (こじかこども園 園長 ふたばこども園 園長)			就実大学大学院 非常勤講師 宮川 洋子 氏 (こじかこども園 園長 ふたばこども園 園長)			
	9時 30分	10時	12時	13時	15時	16時	研修会場

令和7年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

【環境】

- ・小規模園で、1・2歳児混合のクラスである。園周辺が自然に囲まれており、図書館や子育て支援センターなども近くにあり、園外を散歩して季節を楽しむことができる。
- ・保育室内は、畳スペースと床スペースがあり、遊びや生活の状況に応じて牛乳パックで作成した仕切をして、安心して過ごせるようにしている。
- ・小規模園ということで、3歳以上児と関わる機会が多い。活動に合わせて、2歳児が3歳以上児と一緒に遊ぶなど工夫している。また、身体計測で年長児が着替えの手伝いをするなど、意図的に交流する機会もつようにしている。
- ・園庭は3歳以上児と同じ園庭であるため、3歳未満児が安心して遊べる環境がづくりにくい、異年齢の交流はしやすい環境にある。自然物を使用したままごと遊びや、砂場遊びなどでは、1・2歳児も3歳以上児と関わりながら遊んでいる。
- ・1・2歳児クラスといっても、今年度の途中で1歳を迎えたばかりの園児が数名入園したため、年齢の幅が広い。歩行を開始していない園児や何でも口にする園児もいるため、玩具の大きさや遊ぶ場など、安全面に配慮しながら保育している。

【保育内容】

- ・室内では、絵本やポットン落とし、手作り楽器、触れ合い遊びなどを行っている。遊戯室で体を動かして遊ぶこともある。
- ・戸外では、砂場や乗り物、虫探し、季節の草花や野菜を使ったままごと遊びをしている。

【関わり】

- ・個々の発達段階に応じた関わりや援助を行うよう、保育教諭間で連携をとって保育している。
- ・園児一人一人に寄り添い、応答的な関わりをもちながら信頼関係を築き、安心して過ごせるようにしている。
- ・2歳児が1歳児にも目を向けられるように援助していることで、自分から優しく関わろうとする姿が見られる。

【家庭との連携】

- ・日々の送迎時にコミュニケーションをとるとともに、アプリで1日の様子や排便や睡眠、給食の状況を配信している。写真付きで配信することもあり、園での様子を共有しやすく、保護者の安心感に繋がっている。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

- ・ 1・2歳児混合クラスであるが、年度途中で1歳を迎えた園児が入園するため、年齢の幅が広く、発達段階の差の大きさに悩むことが多い。排泄や食事、遊び、運動機能など、違う部分が多いため、それぞれの年齢に合わせた活動を行うことが難しく、活動や遊びを1歳児に合わせると、2歳児には物足りず、すぐに飽きてしまう場面が見られるなど、全ての園児の育ちを意識しながら保育していくことの難しさを感じている。
- ・ 室内で遊ぶ時には、どちらかというと、保育教諭側が遊びを準備することが多くなってしまい、全ての園児が好きな遊びを楽しめていないのではないかと感じることもある。保育室にままごと遊びを常設したいが、食事スペースや午睡のスペース確保、安全面などを考えると場の確保が難しく、園児が好きな遊びを選べる環境をつくりにくい。
- ・ 戸外遊びが3歳以上児と一緒になので、探索が活発な園児や噛みつきのある園児、歩行を開始していない園児など、それぞれの安全面を見守ることが優先されてしまい、園児の遊びにゆったりと関わっていなかったり、一人一人の遊びの楽しさに共感したりすることが十分にできていないと感じる。
- ・ 歩行を開始していない園児は、戸外でマットを敷いて過ごしたり、ベビーカーに乗ったりしているが、他にどのような楽しみ方があるのかが分からず、同じように過ごしてしまっている。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

- ・混合保育を行うなかでの、工夫や援助の仕方、生活の流れ、環境などについて具体的に学びたい。
- ・園児がのびのびと遊んだり、安心して過ごしたりするための環境をつくるには、どのような工夫や配慮が必要かを学びたい。また、発達に合った遊びや活動について、他園ではどのようなものを取り入れられているのかについて学びたい。
- ・室内遊びの環境構成や、手作り玩具、ふれあい遊びなどについて、具体的に知りること
で、自分自身の引き出しを増やしたい。

4. グループワークを終えて（具体的にご記入ください）

グループテーマ： _____

【気付いた点・学んだ点】

- 。園の環境、園児数、職員数などは各園それぞれであるが、どの園も園児のために工夫して保育していることが分かった。
- 。園庭は、場を分けたり、時間を分けたりするなど、色々な方法があるんだということを感じた。
- 。指導計画や記録については、園ごとに様式などが全く違った。必要な部分は残したり、期間を変えたり、改善していくことも必要だと感じた。事務時間のとり方についても聞くことができた。
- 。手づくり玩具や遊びなどについて、他園の先生が教えて下さったことが勉強になった。

【今後自園で取り組みたいこと】

- 。トイレトレーニングや食事等、個々の発達に応じて進めていくことで、園児に負担のないようにしていきたい。
- 。指導計画や記録について、もう少し見直すことで負担を軽減していけるよう、園内で話をけいと感じた。
- 。手づくり玩具を真似てつくってみたいと思う。

【その他（グループワークの感想等自由にご記入ください）】

- 。4人グループだったが、日々の悩みや困っている事について話すことができ、どの園の先生も悩みながらも子どもたちのために“という気持ちで保育されていることが分かり、自分も元氣張ろうと思えた。
- 。短い期間で毎回同じメンバーで話すことができ、重ねたことを次の研修の時に具体的に教えてもらい、とても勉強になった。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

- ・今回の研修を通して、0歳児からの積み重ねがとても大切だということが分かった。食事面、精神的、身体的発達面、身近な大人との関わりなど、どの面も今後の成長の基礎となる部分であり、保育者としての存在、保育がとても大切であることが分かった。
- ・家庭との連携の面についても、保護者との信頼関係の元、子どもの成長を共に支えられるようにすることも大切であると感じた。
- ・実習園でも実際に保育を見せていただき、手づくり玩具や保育について多くのことを学ぶことができた。日々お忙しい中受け入れて下さった実習園の先生方には本当に感謝している。

【今後自園で取組みたいこと】

- ・温かい関わり、子どもに何かしてほいたい時などに言葉を添えること、遊びの中で自立性を発達できるようにサポートについて、これから特に意識して保育していきたい。
- ・仕事分担、子ども分担について知識がなかったが、様々な保育の在り方を知り、今後取り入れてみたいと思う。
- ・0歳から保育が繋がりあるものになるよう、今回の研修について園の職員間で共有したい。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

- ・4日間、多くのことを学ぶことができた。3歳未満児をあまり担任してことがなかったのも、日々真面目に頑張っていたことや不安に感じていたことについて学べたため、今後にも活かしていきたい。

令和7年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

＜環境＞

- ・基本的には0歳児はテラス、1歳児は乳児園庭、2歳児は園庭を少し仕切り遊ぶスペースを作っている。そこを中心として安全面に配慮しながら、子ども達が行きたい所に自由に行くことができるようにもっている。3歳以上児が園庭を使用していない時には園庭の広い所で追いかけてっこをしたり、散策したりして遊ぶようにしている。

＜保育内容＞0歳児：6名、1歳児：11名、2歳児：14名

- ・担当制で保育を行い、生活面を丁寧に見たり安心して過ごしたりすることができるようにしている。子どもの思いに寄り添い保育をすることを心がけ、ゆるやかな担当制を取り入れている。
- ・天気や気温に考慮しながら、登園時に戸外で受け入れをしたり3時のおやつの後にも戸外に出たりと、できるだけ戸外で遊ぶようにし、しっかりと身体を動かしたり自然に触れたりできる時間を大切にしている。
- ・日頃の遊んでいる姿から、子ども達が何に興味があり何を楽しんでいるのかを見極め、クラスの子に合った手作り玩具を用意している。

＜関わり＞

○保育者と子ども

- ・子どもの思いに寄り添い、どんな気持ちも受け入れることを大切に関わっている。
- ・子どもと同じ目線に立ち、保育士も一緒に楽しむことを心がけている。

○子ども同士

- ・2歳児は子ども同士の関わりが増えてきている。子どもなりに言葉や仕草で思いを伝えようとする姿も見られるので、できるだけ子ども同士の関わりを見守り、必要な時には仲介するようにしている。

＜家庭との連携＞

- ・送迎時に様子を伝え合い、子どもが成長した喜びや悩みを共有しながら、しっかりとコミュニケーションを取っていくことを意識している。
- ・連絡帳（0.1歳児）、連絡ボード（2歳児）で日々の姿やエピソードを保護者に知らせている。
- ・園だより（毎月）、クラスだより（年4回）や日頃のお知らせなどをHOICT（保護者向けアプリ）で配信している。
- ・参観日（6月、11月）、発表会ごっこ（2歳児）、スライド上映会（0.1歳児）を行い、実際に保護者の方に園での様子や成長した姿を見ていただく機会を設けている。

＜他職種との協働＞

- ・保育アドバイザー事業で外部の方（大学教授や作業療法士）に子どもの様子や保育士の関わりを実際に見てもらい、支援の必要な子への関わり方や支援方法などを学ぶ機会がある。

＜計画や記録など＞

- ・月案、週案（2歳児）、乳児保育日誌（0.1歳児）、個人指導計画（0.1歳）、記事（2歳から）、日案（1.2歳児）、日課（0歳児）

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

<環境>

- ・戸外では子ども達が思いっきり身体を動かして遊ぶことができるような環境を整えたいが、遊びのスペースに十分な広さを確保することが難しい。また自由に戸外遊びを楽しむことができる環境となるよう考えているが、安全面との兼ね合いが難しく悩んでいる。

<保育内容>

- ・クラス内での発達の差が大きく、高月齢の子が楽しめる遊びが低月齢の子にとっては危険だったり、低月齢の子が安全に楽しめる遊びは高月齢の子にとって物足りなかったりと、遊びの内容を考えるのが難しい。（特にサーキット遊びや運動遊びなど）
- ・日頃から保育士同士で声をかけ合い連携を取るよう心がけているが、入室時や戸外に出る時に動きが難しく、帽子の着脱や靴と靴下の脱ぎ履きなど丁寧に関わりたい場面で子どもの様子を十分に見ることができない時がよくある。

<関わり>

- ・個別対応が必要な子が多く、手が出やすい子の近くにつかなければならない場面がよくある。トラブルをとめることばかり意識してしまい、一人一人としっかり関わっていきたいが、子ども達と遊べなかったり要求に十分に答えられなかったりする時がある。
- ・午睡中、大きな声を出して寝ている子を起こしてしまう子に対して、どのように関わったら良いか。（別室に移動することは場所や保育士の人数的に難しい）
- ・子ども同士の関わりが増えてきており、見守ったり仲介したりする線引きが難しく、必要以上に介入してしまったと反省することがある。

<家庭との連携>

- ・生活リズムが乱れている子が多く、就寝時間が遅く眠そうに登園したり朝起きるのが遅く午睡で眠りにつきにくかったりする子もいる。また、体調が万全ではない状態で登園する子も多くいる。
- ・他児に手が出る子や気になる子について、どこまでどのように保護者に伝えたら良いのか悩むことがある。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

＊環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

<環境>

- ・他園の配置の仕方や環境面で工夫していることや、発達の異なる一人一人の子が夢中になって繰り返し楽しめる環境作りについて
- ・限られたスペースの中でどのような工夫をし、環境設定をしているか

<保育内容>

- ・戸外遊び、室内遊びの内容（子ども達が主体的に遊びを楽しむためのポイントを知りたい）
- ・雨天時の遊びの内容（室内で身体を動かせる遊びを知りたい）
- ・手作り玩具のアイデアやふれあい遊び（自分自身のレパートリーを増やしたい）
- ・食事の介助やトイレトレーニングを進める上でのポイント
- ・1日の職員の動き、職員間の連携で大切にしていること

<関わり>

- ・個別対応が必要な子に対しての関わり方
- ・手が出る子と相手の子に対してどのような声かけをしているか
- ・子ども同士で関わっている時に保育士が見守るか介入するかをどのように決めているか、保育士が介入すべき決め手は何か

<家庭との連携>

- ・保護者対応の仕方（子どもの気になる様子を伝える時に意識していること）

<計画や記録>

- ・第三者が読んでも子どもの発達や成長がよく分かる書き方
- ・書類を作成する上でのポイント
- ・効率良く書類を作成するためのコツ

4. グループワークを終えて（具体的にご記入ください）

グループテーマ： _____

【気付いた点・学んだ点】

- 各園によって環境やクラス構成は異なっていたが、悩みや課題は共通しているところが多くあった。各園での工夫の仕方や心がけていることと知ることで、とても勉強になった。
- 月齢の幅があり玩具や環境に悩んでいた、1人1人の子と関わり、思いと手が合えば、子の近くにいななければいけないことで葛藤があったり、同じ悩みを共有でき、それぞれにどう対応しているか学ぶことができた。
- 各園や各市町村によって指導案の様式は様々だったが、子どもの成長のために必要なことが記されているかどうかが重要であるのだと学ぶことができた。

【今後自園で取り組みたいこと】

- 異年齢で関わることをできるように縦割りグループや毎日一緒に活動する時間を作っている園があり、年下の子に優しくしたり、年上の子に刺激を受け、様々なことにチャレンジしたりする姿があると知り、自園でも参考にし異年齢の関わりを大切にしていきたい。
- 指導計画の様式では、重複しているような所があり、頻度を見通すことができると感じたので、他園の様式を参考にしながら自園で話し合っていきたい。

【その他（グループワークの感想等自由にご記入ください）】

- 似ている悩みを抱えている他園の先生と様々な話をすることができ、環境作りや保育内容について学ぶことができた。自分だけでなく、悩みを共有できた安心感もあった。一緒に悩みについて話し合う中で、同僚の先生も自分と同じ悩みを抱えながらも日々頑張られていることを感じることができた。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

今回の研修を通して、他園の先生方と様々な情報交換をし、特に他の市町村の保育について知ることができ、今まで知らなかったことを多く学ぶことができた。園は違っても抱える悩みや抱える先生方と話し合う中で、今後保育に生かしていくことのできる工夫やアイデアも知ることができ、勉強になった。保育士がたくさん関わって、多くの援助や手助けとすることが必ずしも良いのではなく、子どもが夢中になっている時、自分自身と意欲を削いでいる時などはできるだけ見守るべきだという話を聞き、自分はできているだろうか自分自身の保育を振り返るきっかけにもなった。

【今後自園で取組みたいこと】

今回の研修で学んだ多くのことを、自園の職員に報告し、他園の保育や環境、指導計画の様式などを参考にしながら、自園がより良い保育を行えるよう話し合っていきたい。

また、行事や書類では、本当に必要なことは何かを考えながら見直せるよう、工夫できることがないかと話し合っていきたい。

他園の先生方から聞いた遊びや環境構成の工夫などを日々の保育の中で生かしていきたい。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

私自身、3年の経験が少ななどの講義も公開保育でもっとも勉強になりました。4日間の研修を通して、乳児期の経験が子どものこれからの人生に大きく影響することを知り、改めて保育士という仕事の大切さを感じることができました。ありがとうございました。

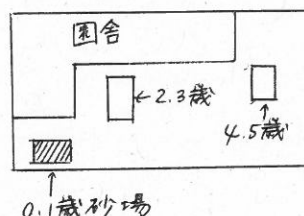
令和7年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

【環境】

- ・0歳児保育室、テラス、園庭で天候や子どもの体調に応じて過ごしている。
- ・園庭には主に0, 1歳児が遊べる砂場を作っている。その周辺に芝生を植え、プランター、花壇、すべり台などを設置している。興味のある自然物を触ったり、体を動かして遊んだりすることを楽しんでいる。
- ・園庭はフラットで異年齢の活動も見える。



【保育内容】

- ・少しずつ歩行が安定し、歩くことを楽しむ姿が見られているので、秋以降は園庭で過ごすことが増えている。一人一人が十分に探索や遊びを楽しめるよう、保育者間で声掛けをしながら安全に見守ったり一緒に遊びを楽しんだりできるよう心掛けている。
- ・砂場には3上クラスの子どもの遊びや誘いに来たりすることもあり、異年齢の関わりが多い。

【関わり】

- ・スキンシップや応答的な声掛け、表情などを意識して子どもが安心して過ごし保育者と信頼関係を築けるよう心掛けている。
- ・食事や衣服の着脱など簡単な身の回りのことに興味が出始めている子どもに対しては、その気持ちを大切にしながら、さりげなく援助を行うようにしている。

【家庭との連携】

- ・連絡帳や送迎時に子どもの様子やエピソードなどを共有しながら、保護者との信頼関係を大切に、丁寧に関わるようにしている。

【他職種との協働】

- ・調理員が食事中に様子を見に来てくれ、子どもの発達や家庭での食事状況などを踏まえて相談しながら個々に応じた食材の大きさや硬さなどを提供できるようにしている。
- ・保育支援員が食事のサポートに入ってくれている。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

【環境】

・子どもの発達や特性に応じた遊びの環境を用意、確保することが難しい。玩具で集中して遊ぶ子どもがいる一方で、目に入ったものに興味をもち触りたい気持ちが強い子どももいるので、トラブルになることが度々ある。一人ひとりの興味関心に応じてどのような遊びや玩具を用意すべきか、また落ち着いて遊べるようスペースを区切るのが適切か悩んでいる。

【保育内容】

・午前睡はしていないが、給食の途中で眠くなる子どもに対して、十分に食事量がとれていないのではと不安になるがどのように対応すればよいか悩んでいる。

【関わり】

・子ども同士で叩いたり、噛みついたりする姿が増えてきている。怪我がないように注意して過ごしているが、自分の気持ちに余裕がなく子ども一人ひとりの遊びの様子や成長を丁寧に見ることができていないと感じている。

【家庭との連携】

・家庭と園での食事内容の差が大きく対応に悩んでいる。入園当初は咀嚼や嚥下がしにくく、ペースト状から徐々に固形に移行している子どもがおり、保護者の意向を踏まえ園では食材を刻んだものを提供している。家庭では誤嚥などに気を付けながら慎重に食事を進めており、ミルク、おかゆが続いているので園で提供している食事の形状に慣れにくく給食の時間に泣いて過ごすことが多い。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

【環境】

・子どもの発達や一人ひとりの興味関心に応じた環境や遊び、玩具など他園での取り組みを知ること
とで自分の知識を増やし、実践していきたい。

・子どもの安全を保障するため環境設定、保育者間での連携を学びたい。

【関わり】

・言葉でのコミュニケーションがしにくい乳幼児期の保育で、子どもの思いや要求をくみ取ることが難しく保育者目線での関わりになってしまうことが多い。子どもと関わるうえでの大切にすべき視点や具体的な援助の方法など、乳児保育についての学びを深めたい。

4. グループワークを終えて（具体的にご記入ください）

グループテーマ： _____

【気付いた点・学んだ点】

- 1日目
- ・環境においては、どの園も規模や保育者の人数等異なるが、3歳未満の子どもが安心・安全に過ごせるようなスペースの確保、危険の無い玩具、遊具の選定など工夫されていることがわかった。近くの図書館から絵本を借りることやできたり、モンテッソーリ教具を取り入れているたりと各国の特色も知ることができた。
 - ・子ども一人ひとりの発達が異なる中で遊びの設定や環境をどうするか、家庭との連携の難しさなど、同じ悩みや疑問も共有することができた。家庭との連携のために、子どものポジティブな姿を中心に様子を伝えていくことの積み重ねが大切と学んだ。
- 4日目
- ・指導計画等書類では各国で形式や種類が大きく異なっていた。重複している部分や疑問を感じる点もあり、交差的に作成していくために振り返って考えることは大切だと感じた。
 - ・家庭との連携について、難しさを感じる場面では保護者との認識のずれが原因となっていることが多かった。（トイレトレーニング開始の時期、いやいや食餌不摂時のやりかたなど）まずは保護者の思いを聞き受け止める姿勢を大切にし、その後職員間で連携をとりながら対応していくことで、保護者も子どもも尊重しながら保育を進めていくことにつながるとわかった。

【今後自園で取り組みたいこと】

- 1日目
- ・栄養士と連携して、「食育の日」に野菜の断面を見たり触ったりなど、食への興味につながるような取り組みが行われている園があり、自分の園でもやってみようと思った。
 - ・「開放的な保育」を目標に、必要最低限の仕切りや柵で子どもが自由にうろたえられる室内環境にしている園があり、子どもの安全を確保しながらも、興味ややってみよう気持ちを制限せず子どもにとってより自由な環境にしていこうという意識をもちたいと思った。
 - ・子どもとの関わりの中で、カーテンを開ける・物を置くなど、保育者の何気ない動作にも言葉を添え、子どもが生活の中で意識できるようになっている園があり、遊びも生活も子どもに寄り添った丁寧な関わりをしていけるよう自分の園でも心がけていきたいと思った。
- 4日目
- ・家庭との連携が必要と思われる場面では、子どもの様子を伝える際に、良いところや頑張っている様子をしっかりと伝え、保護者と育ちを一緒に喜ぶ姿勢をもちたいと思った。
 - ・子どもに開くこと、対応しない保護者と考える段階にお預けしていることを園側から一方的に伝えるのではなく、選択肢をあげて保護者の希望を聞いて、保護者の考えを聞いてうまいスモールステップで進めていたりする事例を聞き、自分の園でも家庭に寄り添いながら柔軟に対応していきたいと思った。

【その他（グループワークの感想等自由にご記入ください）】

自分の園にいただけではわからない他国の環境や取り組み、子どもとの関わりを知ることができ、勉強になった。

同じ悩みや課題も共有することもでき、ほっとすることもできた。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

- ・子どもが安心、安全に過ごせるための環境や関わりについて学びたいと考えていたので、感染症や緊急時の対応法、から離乳食対応まで幅広く勉強することができた。窒息時の救急処置では実際に人形を使用して行うことで、手を当てる位置や力の入れ加減などを知ることができた。自分の判断が、対応が子どもの命を左右するという責任感も改めて実感した。
- ・3歳未満の大人、保育者との関わりにおいて安全基地の獲得ない就学前以降にも影響を与えていくことがわかった。自己肯定感をしっかり育ていけるような関わりをしていくことが大切と学んだ。
- ・どの科目でも、子どもの自分でやってみたい、気持ちを3歳未満児においても見落とさず、尊重していく環境、関わりをしていくことを常に考えていきたいと思った。

【今後自園で取組みたいこと】

- ・離乳食の支援ポイントを学び、手ごね食で食具の使用の際に十分に行える環境や介助方法を職員間でも共有していきたいと思った。給食が荒れたい時間になるのではなく、汚れてもいい環境、見守る姿勢と大切にしたいと思った。また、食べた！気持ちを表せるよう、午前の活動でしっかり体を動かしたり空腹を感じられる内容になるよう工夫していきたいと思った。
- ・ふれあい遊びの大切さを知り、0歳児のふれあいあそびリストに書かれている内容を取り入れてみたいと思った。またその際には子ども一人ひとりと目を合わせ、気持ちを通合するような関わりを意識したい。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

- ・自分の保育が子どもに与える影響を改めて感じ、大切な時期の保育を任されていることを実感した。
- ・具体的な援助方法もたくさん知ることができ、実践してみたいと思った。
- ・遊びと生活のどちらも子どもの育ちには必要とわかり、一人ひとりの子どもに対し満足、その子の思いを大切にしながら保育していきたいと思った。
- ・貴重な入浴の機会をありがとうございました。

令和7年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

＊ あそび

・行事や季節のあそびを多く取り入れていて、3歳でもできるあそびを考えている。

感覚あそび（小麦粉粘土、春雨、おからパウダー、スライム、高野豆腐、ワカメ
（0.1.2歳） 片栗粉、寒天 など）

0歳児クラスでは口に入れないようにジップロックに入れてさあつたり
保育教諭と一緒にやってみる

集団あそび

（1.2歳）

（おひっこしゲーム、むくろくまん、色あに、しっぽとり、イスとりゲーム など）

簡単なルールのあるあそびを取り入れることで約束事を守る大切さ
学べるようにしていく。

保育教諭や鬼役の子どもとの関わりを楽しめるようにする。

異年齢児との関わりは、お店屋さんごっこや夏まつりごっこを通じて大きいクラスのお兄ちゃん
お姉ちゃんとの関わりを楽しめるように工夫している。一緒にお店をまわったり、ゲームコーナー
を楽しむ。

＊ 生活

1階が3歳、2階が3歳上、3階がホールになっていて、上のクラスによく散歩に
出かけ歌を聞いたリ、製作物を見たリ他のクラスにも興味をもてるようにしている。
階段ののぼりおりが秋ごろにはスムーズになり1年を通して足腰がしっかり
発達していくことができる。

＊ 運動会・発表会ではその時期に子どもたちが好きな踊りや絵本などから劇に
いたり、そのときの成長に合わせて保護者に見てもらったり笑いで練習に取り組め
るようにしている。

＊ 月に1回の給食会議で食材の大きさや量などと給食先生と話さして子どもの
進み具合など意見を交わしている。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

- ・月齢差が特に目立つ、0.1歳児の活動が難しいことがある。
- * 感触あそびをやりたいが、指すいや口に手をもていってしまう子がいるとなかなか出来ない。
- * クレヨンも筆圧が弱く画用紙に色がつかない子がいる
- ・食事では高月齢児の子はスプーンで食べることができるのに小さい低月齢の子どもが近くにいるとその姿を見て真似をして、手づかみ食べて食べようとする子どもがいる。
(テーブルを分けたらいいが、高月齢の子の刺激も大切...)
- ・友達との関わりで一緒におもちゃであそびたし時と、一人で積み木や車などをやりたし時に声かけや対応に戸惑うことがある。
(作ったものをこねてあそぶ子がいたり...)
- ・小さいクラスは複数担任ということもあり保育者同士の連携が大切だが家庭との連絡事項など誰かが任えてくれているという思い込みなどで行き違いになってしまうことがある。
- ・保育活動の中で設定が思っている環境構成とちがっていたり、クラスでの話し合いがしかりできていないと円滑に保育を進めていくことができない。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

* 環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

★ 乳児 保育のあそびで 月齢を 分けて 同じようにできるあそびを 知りたし。 (同じようにあそんでいるけど やり方はちがうなど)

★ イヤイヤ期に入っている時期に トイレをしているか 声のかけ方や タイミングなど、子どもに合わせてやっているか これで いいのか...

・ イヤイヤの時に 無理に連れていき トイレが 嫌になってもいけない
・ 成功したら しっかりほめることで 自信はついていけそう...

★ 給食で 好き 嫌いがある子どもへの対応

自ごはんが大好きな子がいいて、お米だけを食べてくれるから ずばいづばい おかきりしている 状況で いいのか...

今は 食べる 意欲も大切にしているが 少しは おかずやお汁も 排棄させて いくべきなのか...

★ 子ども同士のやりとりの 中で どこまで 仲介に入ってあげると より楽しいあそびに 発展していけるか 考えていきたい。

1歳児クラスでは言葉が増えてきて 友達との 関わりも 増えているので

「いーえーてー」や「あそぼ！」と一緒に 言ってみた際に、その子は まだ一人あそび のが 集中して あそぶ 姿が見られた。 玩具や 子どもの お気に入り の あそびを 把握して 声をかけていく 必要がある。

4. グループワークを終えて（具体的にご記入ください）

グループテーマ： _____

【気付いた点・学んだ点】

家庭との連絡が手帳がなくてアプリで行っている園が増えている。
伝わりにくい保護者への対応が難しくかったり、保護者にうみつきやりの
報告をする際に気づけていることを学ぶことができた。

家庭との連絡で難しいと感じていることはどの園も共通している部分があり
まずは保護者によりよい子どもめいいところを伝え、信頼関係を築くことが
大切！

保育の計画・作成においては月・週案で1枚になっている園もあったが、だいたいは子どもの
ねらい、姿、環境構成などを書いて反省、評価があることに気づくことができ、いかに
ねらいをもとに姿に合わせたあそびを考えていきたいと思った。

(発達)

【今後自園で取り組みたいこと】

・園内研修などで今回の研修で学んだ保護者へのアプローチ、連携の取り方などを
いかにとグループで話し合っ実践なども含め相手の先生に大切なことを伝えて
いきたい。

・実習園で見た担当制の良さをすぐに取り入れることは難しいが、仕事分担と
子ども分担をうまく活用しスムーズに活動かに入れるようにしていきたい。

・手作りおもちゃの見せあい、こですぐにできそうな空き箱を使ったぽろとれあとりを
作ってあげたい。

【その他（グループワークの感想等自由にご記入ください）】

遠方の保育園の方とも交流でき様々な保育のやり方や対応などがあり
多くの時間フリーワークがあったことでいかに話し合うことができてよかった。

保育所実習の際に公開保育されていた園の先生や同じ担当児の年齢の先生との
話し合いで各園のあそび、生活の工夫しているところや環境設定で配慮して
いるところが知れて勉強になった。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

乳児保育の3歳未満の経験や愛着が大人や幼児にな。ての成長に大きく関わっていることを改めて学ぶことができた。

遊びや、1対1の関わりを大事にして声かけをしてあげたり、気持などをみてあげたいと思った。

実際に赤ちゃんの人形を使って窒息の対処方法を学び、強くたたかないとつまっている物は出さないと感じた。

また、普段の手洗いで指のつけ根や親指など全然洗えていなかった。

（もちろん毎日丁寧に洗わないといけない）

子どもの発達において表裏機能は一緒に発達していくことを知り、0.1歳のうちに様々なあそびを提供してあげることが大切だと学ぶことができた。すぐに保育者が介入することなくあそびを見守ることも大事!!

【今後自園で取組みたいこと】

- ・コーナーにいくつか分かれて好きなことを選んであそべるような環境やふれあいあそびを交代にしてあげることが今までなかったので、やてあげたいと思った。
（朝や夕方にいる特定の子だけよくしていた。）

- ・定期的に様々な救急処置の確認を園全体で行っていきたくと思った。
（久しぶりにエビペンをさねたり、背部叩打法をまいてやていないと忘れてしまうため）

- ・トイトレや離乳食、発達過程など保護者との連携が必要な部分はいかにコミュニケーションと信頼関係を築いてから進めていきたい。
（伝え方によっては納得のいかなる親も今はいる）

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

普段のあそびでちょっと意識を変えていくだけでこんな発達につながっていく。この力をつけていけるなど乳児保育からの積み重ねが本当に大切だと感じることもでき、0歳児の担任が土台を作っていく素晴らしさを学ぶことができた。

令和7年度 3歳未満児保育サービス向上支援研修会

1. 所属園における3歳未満児の保育を振り返り、特長、園独自の取組、自ら工夫していること等について、以下のような視点から振り返りご記入ください。

＊環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

【環境】

- ・3歳未満児、3歳以上児共に広い園庭があり、自ら選んだ遊びの充実を図っている。3未と3上で園舎や園庭が別にはなっているが、3上の園児は自由に3未の園庭に来ることができる。また普段の生活の中でも、身の回りの手伝いに来てくれたり、一緒に散歩に行ったりと、交流の機会を多く設けている。毎朝3上がふれあいタイムを行っているので、3未はテラスから見学をしている。2歳児と一緒に参加させてもらうこともある。
- ・隔週で週案検討会を行っており、園児の実態と遊びの環境の再構成を行っている。季節に合わせた様々なコーナーを用意しており、園児が自ら主体的に遊べる環境を整えている。3未、3上で話し合った内容は担当がまとめて配付され、全体で共有するようにしている。

【家庭との連携】

- ・学期に1回の参観日と、運動会・発表会を取り入れ、子どもの様子を見てもらうことで、共に成長を見守れるようにしている。参観日では、親から離れられない園児もいるため、普段の様子を動画に撮り、参観日で視聴することで、遊びの様子や園での生活の実態、4月当初と比べ、成長したところなどを共有している。

【他職種との協働】

- ・年に2回情報交換会を行っており、保育者、保健師、療育などの専門機関で気になる園児の実態を共有し、今後の支援方針について話し合う。午前中は、実際に園児の様子を見てもらい、午後から話し合いを行う。療育に通っている園児は、年に1回以上スクラム会議を行い、保育者、保健師、療育、保護者が一緒に園児の成長や課題について話し合う時間がある。
- ・園の中に給食室があり、管理栄養士の先生と調理の先生がいてくれるため、普段から園児の食事の様子を見に来てくれている。月に1回給食会議があり、食べが良かったメニューと、残食が多かったメニューについて各クラスの話し合いを行う。来月の給食の献立についても話し合う時間を設けている。

2. 日頃感じている3歳未満児保育の問題点・疑問点について、以下のような視点から、できるだけ具体例を挙げてご記入ください。

*環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

・月齢によって発達の差が大きいため、活動の難しさを感じる。食事、排泄、着脱などの身の回りのことでも一人一人に手がいることが多い。年齢的にも、集団での活動は難しい時期ではあるが、集団での活動が必要になる場面もあり、個々に応じた援助が難しいと感じることもある。

・発達に遅れがあったり、集団での活動に参加できにくかったりする園児もいるが、年齢が若いこともあり、様子を見ましようとなることが多い。同じ月齢の園児でも、家庭での関わりや経験によって、できることへの差が生まれているため、見極めが難しい。

・噛みつきがある園児への対応の難しさがある。言葉で伝えられない思いを、叩いたり噛んだりすることで表現しているのだと思うが、防ぐことが難しい。また、トラブルがあった際に、言葉で伝えるのでは納得できない園児もいるため、伝え方が難しい。

3. 今回の研修で学びたいことは何ですか。以下のような視点から自己課題を設定してください。

＊環境・保育内容（生活や遊び）・関わり（保育者と子ども／子ども同士）・家庭との連携・他職種との協働・計画や記録など

・集団と個のバランス。年齢に応じて、どこまで全体での活動を求めるべきか、どんな活動があるのかを知りたい。

・3歳以上児とは違い、話をしてもなかなか伝わらないことがあるため、どのような伝え方をしたら園児が納得して次の行動にうつることができるのか。また、自分の欲求や思いを伝えられず、手が出たり噛みついたりする園児のトラブルが減らせるような、保育の仕方や環境づくりを知りたい。

・手遊びや歌、遊びなど、日々の保育で使える出し物の引き出しを増やしたい。

・保護者に、日々の園児の様子を知ってもらうために、工夫していることはあるか。（送迎時の伝え方、ドキュメンテーション等）

4. グループワークを終えて（具体的にご記入ください）

グループテーマ： _____

【気付いた点・学んだ点】（8:00～17:30）

- 1日目 ○ 登降園を戸外で受け入れしていると3もあり、保護者から離れて登園しやあつたり、お迎えを待つのも楽しく待つことができたと思、て。
- 担当係を取り入れている園もあり、一人一人との関係が作りやあいのメリットもあるが、他の職員との関係が作りにくかつたり、責任が大きい、休みがとりにくいなどのデメリットもあると思、て。
- 各園での取り組みは様々ではあるが、子どもの待ち時間を作ってしまう、遊びのパターンが同じになってしまう、などの悩みは、どの園も共通しているものがあった。
- 4日目 ○ 指導計画は各園で様々な様式があり、自分の園の使いやあいと3や、改善が必要なと3等、考え直すことができた。自分の園しか知らなかつたので、他の園と比べる機会を設けられてよかった。
- 家庭との連携では、みんぱととと、葉っぱつて対応や、留意点など感じており、とても参考になった。お願いがあるときはよく、プラスの面や肯定的な言葉を伝えていきたいと思、て。

【今後自園で取り組みたいこと】

- 天候がよい時には、自園でも戸外で遊びながらお迎えを待っていたので、今後もしばしば取り入れていきたいと思、て。
- また、保育所実習で見ていたように、普段からの異年齢での交流や遊びの中で様々な種類の自然物を用意し、見立て遊ぶことが出来る環境づくりは、自園でも取り組んでいきたい。
- 保護者との連携で、伝えっぱなしではいえないというので、ははは（園ではこのように対応していただけます！）と具体的に伝えながら、一糸縷に成長を見守っていくことは、やっていきたいと思、て。
- 指導計画の様式、必要な書類（園ごとと、どの期間で記入するか）は、自分が発信することと考えるきっかけを作ってもらいたいと思、て。

【その他（グループワークの感想等自由にご記入ください）】

最初は知らないうちに緊張して、初日からグループワークを取り入れた活動が多くあつたため、すぐに打ちとけることができた。4名という人数もみんなが話をすることができて、とても良かったと思う。

その後もグループがかわるとは、4日目まで同じグループだったのも、気持ちや案に石をいれずに向かうことができた。

5. 4日間の研修を終えて（具体的にご記入ください。）

【今回の研修で気付いた点・学んだ点】

- 園やもっているクラスの年齢はちがっても、抱える悩みや考えているところは似ていることも多くあって、子どもから離れて、改めて自分の保育を見直す良い機会にたつた。保護者対応は、自分自身、難しいなあと思うところが多くあったので、グループで共有できて、また、他の人たちも同じように頑張っている、とても励みになった。頑張ろうと思った。普段の送迎時から何気ない話で信頼関係をつくっていく、できていないことを伝える時にも、肯定的に保護者がどうしたいのか、思いを聞きながらしっかりと寄り添っていくと思う。
- 4日間の中で、保育所実習があったのも、他の園の保育を見せていたところ、本機会はたまにはいいので、とても参考にはなった。手振り玩具や、室内、戸外の環境構成等、良いところはどんどん真似していきたい。

【今後自園で取組みたいこと】

- エピソードを使う必要がある。アレルギ-児は自園にはいないが、今後のためにも、園内研修等で学んだことや、やり方を全体に共有していき、共通理解を図っていくと思う。
- 0歳児のふたあし遊びの動画を見て、0歳の時から保育者とステップをとりながら、保育者の歌声でふたあしとは入事だなと思った。資料にのっている0歳児の「ふたあしあそび」リストを共有してからは、1歳児、2歳児もどのようなものがあるか、みんなで考えて取り入れていきたい。
- 自分達だけでなく、さらには、ほかの園、資料の作成の仕方を考えていきたい。

【その他（研修の感想等自由にご記入ください）】

4日間、講義やグループワーク、演習を交えながら、3歳未満児の保育について、より深く学ぶことができた。また、自分自身の保育を改めて考え直す機会にはなりました。

貴重な研修の機会をいただきました。ありがとうございました。